

○ 教 育 方 針 等

1 本校の教育方針

日本国憲法、教育基本法及び学校教育法の精神に則り、奈良県教育委員会の『学校教育の指導方針』を踏まえ、時代の変化に主体的に対応できる、民主的國家及び社会の形成者として、調和のとれた人間の育成を目指して推進する。

2 本校の校訓

「 質 実 ・ 剛 健 ・ 礼 節 」

3 本校の学校経営方針

- (1) 教職員と生徒が互いのコミュニケーション能力を高め、共有化されたビジョンのもとで充実した教育活動を展開し、生徒一人一人の自己実現（本人のための教育推進）を目指すとともに、校訓である「質実・剛健・礼節」の体得を図ることを支援する。
- (2) 「学ぶ力」「生きる力」（知育・徳育・体育）の充実により今日的教育課題を主体的に解決できる力を培うとともに、「地域・社会に貢献する自立した人材」の育成を目指し、地域や保護者から信頼される「魅力と活力ある学校づくり」に努める。
- (3) 「確かな学力、豊かな人間性、たくましい心身を備えた生徒」の育成を中核に据え、「夢や希望の実現に向け、様々な課題に積極的に挑戦する生徒」「自他を尊び、地域・社会に貢献する自立した生徒」の育成に努める。
- (4) コミュニティ・スクールとして地域と共にある学校づくりの更なる推進を目指し、保護者や地域住民等が本校の学校運営に参画し、連携を促進することにより、互いの信頼関係を深め、協力して学校運営の改善及び生徒の健全な育成に取り組む。

4 本校の重点目標

- (1) 確かな学力の育成－「知」の育成
 - ・ 基礎的な学力の定着を図り、学ぶ意欲を喚起し、学力を向上させる。
 - ・ 自ら学び、自ら考えるなど、主体的・探究的に取り組む態度を育成する。
 - ・ 言語活動を充実させるとともに、思考力、判断力、表現力を育成する。
 - ・ 自尊感情を育て、自己肯定感を養う。
 - ・ 帰属意識を高め、愛校心を育む。
 - ・ 生徒一人一人の能力・適性にあった進路保障を図る。
 - ・ 望ましい職業観を育成し、検定や資格取得等で生徒の能力の伸長を図る。
- (2) 豊かな人間性の育成－「徳」の育成
 - ・ 温もりのあるコミュニケーション能力を育成する。
 - ・ 人権尊重の精神に徹し、他者を認め共に生きる能力と態度を育成する。
 - ・ 道徳心や公共心を育み、社会の一員としての自覚を深めさせる。
 - ・ ボランティア活動を推進し、地域や社会に貢献する精神を育てる。
 - ・ 生徒会活動や部活動等を通じて、自立してたくましく生きる力を育成する。
 - ・ 異文化や多様性を理解し、幅広い豊かな人間性を育成する。
 - ・ 自己理解と言語活動の充実により、グローバルなものの見方を身に付けた人材を育成する。
 - ・ 読書活動の推進などにより、先人の知恵に学び、豊かな人間性を育成する。
- (3) たくましい心身の育成－「体」の育成
 - ・ 自らの健康と安全に留意し、基本的な生活習慣を確立させる。
 - ・ 部活動への積極的な参加を促し、体力・気力・忍耐力の向上を図る。

- ・ 食事、学習・運動、休養・睡眠の規則正しい生活リズムの実践により、自己管理能力を向上させる。
- ・ 心身のたくましさや思いやりを感じさせるさわやかな挨拶や正しい言葉遣いができるようにする。
- ・ 健全な行動を伴う規範意識を向上させる。

5 本年度の重点目標

- ◎ 基礎学力の充実・伸長を図る。
探究活動の充実、家庭学習の充実、計画的な学習、補充講座の充実、言語活動の充実、授業研究の推進、学ぶ意欲と想像力を高める教育の実践 等
- ◎ 規範意識等の向上を目指す。
欠席・遅刻を減らす取組、挨拶・マナーの向上、頭髪・服装・言動・規範意識などの点検 等
- ◎ 奈良T I M Eの主旨を踏まえ、奈良の歴史を学ばせ、郷土愛を育む。
総合的な探究の時間等の活用、地域でのフィールド学習、奈良に関する講演 等
- ◎ 部活動等の活性化を推進し、自信と誇りがもてる活気ある学校を作り、良き校風の継承に努める。
検定等の合格率の向上、校歌の指導、各種大会・コンクール等への挑戦、自己向上への挑戦、体力向上を目指す取組、効果的な指導法の研究、外部指導者の活用 等
- ◎ 温もりのあるコミュニケーションを通して、家庭と連携を密にとり、きめ細やかな指導に努め、生徒を支援する教育の充実を図る。また、多様性を尊重し、共に生きていくための意志と実践力を育成する。
教育相談や特別支援の必要な生徒・不登校生徒等への指導体制の充実、支え合う仲間づくり、家庭と連携した望ましい生活習慣の構築 等
- ◎ コミュニティ・スクールの取組を推進するため、保護者や地域の要望や意見を学校運営に反映させるとともに、地域とさらに連携し、地域と共にある学校づくりを活発化させる。地域貢献できる外部人材の活用にも努める。
公開講座・出張授業の実施、近隣の学校・園との連携、外部人材の活用 等
- ◎ ニーズに応じた特色ある教育課程を研究する。
「まなびの森コース」の教育内容の充実、進学に向けた基礎学力の充実、大学等との連携によるキャリア教育の充実、情報機器等の活用に関する研究 等
- ◎ 生徒の教育活動や校舎・人工芝などの施設・設備等についての五條高校の魅力を積極的に広報し、良き伝統とともに新しい取組にも果敢に挑戦している姿勢をアピールする。
中学校訪問、オープンスクールの充実、HPや報道資料の積極的な更新や発信 等
- ◎ 防災教育の見直しや美化活動の充実を図る。
HRなどにおいて定期的・計画的に防災教育を行い、火災だけでなく、地震や豪雨等の非常変災に対応できる力を育成する。

6 教職員の指導に関する留意事項

- ・ 安全で衛生的な学習環境を構築する。
- ・ 自己研鑽に努め、教職員の専門的力量的向上を図り、指導技術を磨く（授業の工夫・改善）。
- ・ I C Tを活用し、学習活動の創意工夫を図る。
- ・ 地域とのつながりを大切にした活動を取り入れる。
- ・ 自律性と協調性をもち、根気強く、繰り返し指導を行う。
- ・ 生徒の悩みを傾聴し、生徒理解に努める。
- ・ 生徒のよいところを褒めるなど、厳しい中にも愛情をもって生徒に接する。
- ・ 生徒や保護者とコミュニケーションを十分とり、タイミングを逃さない指導に努める。
- ・ 教職員相互の報告・連絡・相談に努め、迅速な対応を心がける。
- ・ 共通理解、同一歩調、全校体制で指導に当たる。
- ・ 生徒のアンケート等を分析し、今後の指導力向上に役立てる。

○ 校 歌

二、緑濃き學びの森
若人は光りに満ちて
耕すは世紀の文化
培ふは日本の使命
金剛の空高らかに
こだませよ
興國の歌

校 歌

西尾 芳喬 作詞
信時 潔 作曲

一、櫻咲く學びの森

若人は希望に燃えて
尋ぬるは眞理の扉
索むるは個性の泉
吉野川流に映えて
うち樹てよ
榮光の旗

○ 設 置 学 科

全 日 制 課 程

普 通 科
商 業 科